

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度第2回みよし市地域公共交通会議		
開催日時	令和4(2022)年9月9日(金) 午前10時から午前11時45分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室1・2・3		
出席者	<p>【会長】 伊豆原浩二 【副会長】 松本幸正 【委員】 鈴木淳 久野文仁 増岡庶 深谷彰子 小林裕之 大野淳(代理 加藤義郎) 大竹宏(代理 加藤水竹) 山口直毅 大橋成和 花村元気(代理 内藤杏) 山内三奈 大林益英(代理 平野新一) 伊與田正康 小久保浩(代理 中根卓矢) 野澤雄二 新谷千晶 竹田雅弘 酒井喜市 久野恭司</p> <p>【事務局】 政策推進部長 政策推進部参事 政策推進部次長兼企画政策課長 企画政策課副主幹 企画政策課副主幹 企画政策課主事 企画政策課主事</p>		
次回開催予定日	令和5(2023)年1月24日(火)		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 森 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 海堀課長	定刻になりましたので、ただいまから令和4年度第2回みよし市地域公共交通会議を開催いたします。 初めに、恐れ入りますが礼の交換を行いますので、御起立をお願いいたします。一同礼。 御着席ください。 委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、またコロナ禍の中、御出席いただきまして、誠にありがとうございます。 感染予防対策のため会議室を広く利用し、会議を進めさせていただきたいと思っております。 また、会議中の発言につきましては、マイクを使用し、マスクをしたまま発言していただきますようお願いいたします。 それでは会議の開催に当りまして、政策推進部長から御挨拶させていただきます。		
清水政策推進部長	皆様おはようございます。 政策推進部長の清水でございます。 本日はお忙しい中、地域公共交通会議に御出席いただき誠にありがとうございます。 また、日頃は、本市の交通政策に御尽力をいただきまして、ありがとうございます。		

	<p>さて、1週間前の9月2日になりますが、議員の皆様方の現地視察に同行し、乗継ポイントとしてみよし市で一番乗り継ぎの多いイオン三好のバス停を視察して参りました。</p> <p>ちょうど午後1時過ぎのさんさんバスがバス停に5台集まるという時間帯でした。その際、乗継券を持って順番に並び、スムーズに乗り継ぎしていただいている姿を見て、今のところ順調に進んでいるなど安心して見ることができました。</p> <p>また議員の方からは、バス停の表示が少し見にくいのではという御意見やイオン三好店内の待合いコーナーにバスロケーションモニターがありますが、その案内表示をもう少し改善した方が良いのではといった、いろいろな御意見をいただいたところです。</p> <p>本日の議題にありますように、フォローアップ調査を10月に実施いたします。そのフォローアップ調査の結果を踏まえ、良い点についてはより良く、そして改善すべき点は速やかに改善できるような形で考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆様には、忌憚のない御意見をいただき審議していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>典 礼 海堀課長</p>	<p>本日の会議は、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱の規定に基づき、会議を公開とさせていただきます。</p> <p>本日は、傍聴者の方がいらっしゃいますので、御報告いたします。なお、傍聴者の方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、傍聴受付でお渡しした注意事項を御確認の上、御理解御協力をお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は21名で、委員の半数以上御出席いただいております、みよし市地域公共交通会議要綱第5条第2項の規定を満たしていますので、本会議は成立していることを報告させていただきます。</p> <p>また、本会議から、2名の方が役職員の改選等に伴い、新たに委員に御就任いただきますので、御紹介をさせていただきます。お手元に配付させていただいた委員名簿にて御確認いただきたいと思います。</p> <p>愛知県交通運輸産業労働組合協議会 大橋 成和 様 愛知県ITS推進協議会 武田 雅弘 様</p> <p>よろしく願いいたします。本来ならば、お1人ずつ委嘱状をお渡しするのが本意ではございますが、机上に委嘱状は交付させていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>それでは、伊豆原会長に御挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>皆様、おはようございます。</p> <p>コロナはまだ収束の方向が見えていない中で、こうやって広い会議室を用意していただき対面でお話ができることは、すごく大切だと私は思っています。事務局は大変だと思いますが、ありがたいなと思っています。</p> <p>さんさんバスについては、この4月から新しいルートで、時刻表も変えて運行していただいております、先ほど政策推進部長からも乗継ポイントのお話がありましたが、御利用も少しずつ伸びてきています。</p> <p>そういう意味では、本当は安心しているところではありますが、そうは言ってもこれから市民の移動の確保、皆さまが楽しんで移動できる仕組みをこれからも目指していくことがすごく大切だと思います。</p> <p>生活が良くなるためには、基本的な移動が自分たちででき、自分の意思に従って移動できる社会を作ることがすごく大切です。</p> <p>そういう意味では、一昨年になりますが、活性化再生法が改正され、地域公共交通計画をみよし市でも作成していただきましたが、少しでも改善の方向を見いだしていくことがすごく大切だと思いますので、今日はいろいろ資料がありますが、御意見をいただいて、市民、それからみよし市を訪れた人たちの足になるように、良い方向を見つけていきたいと思っておりますので、どうぞ忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。</p>

	<p>よろしくお願ひいたします。</p>
<p>典 礼 海堀課長</p>	<p>ありがとうございました。 次に、要綱第5条第1項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、伊豆原会長に会議の進行をお願いしたいと思います。 よろしくお願ひいたします。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>それでは、お手元の次第に沿って会議の議事を進めていきたいと思ひます。 本日は、協議事項1件、それから報告事項3件用意しています。 先ほど申し上げたように、時間の許す限り、是非色々なお知恵をいただけたらと思ひますので、よろしくお願ひいたします。 協議事項「さんさんバス路線再編フォローアップ調査内容について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>企画政策課の森と申します。よろしくお願ひいたします。 協議事項のさんさんバス路線再編フォローアップ調査内容について、資料1を御確認ください。 1のさんさんバスの運行目的ですが、路線再編などを通して、(1)日常生活における移動手段の確保、(2)交通弱者の社会参加の促進、(3)市中心部や駅へのアクセス確保、(4)地域間の交流促進、(5)環境負荷の低減と交通の円滑化の推進を目的として運行しています。 2の調査の趣旨ですが、さんさんバスは、本年度4月1日に路線再編を行い、本日お配りしたバスマップのとおり、新しい路線、ダイヤで運行しています。 主な再編でのポイントを資料右側に記載していますので、御確認ください。 再確認となってしまう点もありますが、大きなポイントとしては、①から④に記載のとおり、路線を2路線から3路線とし、増便、ダイヤを拡大したほか、長大路線の解消のため、南北を1本で結んでいた路線を市中心部で分け、主要バス停で乗り継ぎを可能とする乗継ポイントを設置したことが挙げられます。路線、ダイヤを見直したことで、⑤の遅延率は22.2%から3.4%に減少しています。なお、こちらは10分以上の遅延数で算出しています。 そして、⑥から⑧のとおり、バスのデザインを新しくしたこと、市内小学生による車内アナウンスを行っていること、車内にモニターを設置し行政情報や広告を放映するようになったことが挙げられます。 資料の左側の3に戻りまして、本調査の委託事業者は、株式会社国際開発コンサルティングになりまして、本日同席もしていただいています。 4の実施時期は、10月21日金曜日、23日日曜日となっております、こちらは平日・休日各1日で調査を行うに当り、一時的に利用が増えるイベント等と重ならない週を選定しています。 5の実施内容ですが、平成30年度に実施した利用調査同様に利用実態、利用意向の2種類調査を実施いたします。 2枚目の資料以降で詳細は御説明しますが、まず(1)利用実態調査では、さんさんバスの路線別、便別の利用特性を把握するため、対象日のすべての便に、調査員が乗車し、利用者の方にはバス車内で御回答いただく調査になります。 なお、ここに記載のOD調査とは、※1のとおり、出発地から到着地へ移動する交通量調査のことで、例えばみよし市役所から三好ヶ丘駅前まで行く人が多いとか、どういった人の動きがあるかなど、実態を調査するものになります。 (2)利用者意向調査は、(1)利用実態調査時に併せて配布し、御自宅などで御回答の上、郵送で御提出いただくものになります。こちらは、アンケート形式となっております、路線再編に伴う満足度、改善事項等を把握し、フォローアップするものになります。 なお、乗継タクシーは、乗継券の実績枚数で実態を把握し、意向調査のアンケートは、調査員が不在のため、車内に設置する形となります。 次に資料右側の6スケジュールですが、本日の会議で調査内容を御確認いただき、10月に調査、そして来年1月に3回目の交通会議を予定していますので、そこで結果をお示しできればと考えています。</p>

それでは、調査内容の確認に移りたいと思いますので、2枚目以降の資料を御確認ください。A3の資料に調査項目とそのねらいを記載しており、A4の資料が調査表の案になっています。

まず、利用実態調査について、次の資料A3の1ページ、左上に利用実態調査と記載されたもの、A4の利用実態調査表（案）を併せて御確認ください。

A4の調査票表面では、調査の案内と調査員の記録欄があります。流れとしては、調査員が乗客の乗車バス停や、その他調査日などを記入し、乗客に配布します。そして、乗客が裏面を回答し、降車時に回収します。回収した調査票に調査員が降車バス停を記入し、完了という形になります。調査内容については、裏面を御確認ください。こちらは本日机上にも過去調査のサンプルを御用意しましたが、ビンゴカード形式になっています。

乗客の基礎データとして性別、居住地、年齢を、そして利用特性を把握するために、目的、運賃支払い方法、他路線への乗り継ぎ、利用頻度、往復利用、目的地を御回答いただく形になっています。

こちらは、全ての利用実態を把握する調査のため、1日に数回乗った方にも毎回配布する形になります。

次に、利用意向調査の説明に移りたいと思います。A3の2ページめとA4の利用者アンケート（案）を併せて御確認ください。

A4の利用者アンケートの1ページめでは、アンケートへの回答依頼などを記載しています。なお、提出期限は11月3日とし、返送先は委託事業者になっています。

2ページめでは、基礎データとなる性別、年齢などのほか、運転免許証の保有や返納状況を聞いています。

3ページめでは、アンケートを受け取った日の利用状況を聞いており、問2、問3で受け取った路線と日付、問4で乗り継ぎを含めたバス停利用状況、問5、問6で利用目的と目的地について聞いています。

4ページめでは、問7で自宅からバス停、問8で降りたバス停から目的地までの移動手段を聞いています。問9ではさんさんバス、乗継タクシーの利用頻度、問10では運賃の支払い方法、問11では他の交通機関への乗り継ぎ状況を聞いています。

問12では、往復での利用かどうかを聞き、片方でしか利用していなかった方に対しては、問13、問14でその理由と代替した移動手段を聞いています。

問15では、さんさんバス、乗継タクシーの利用開始時期について、本年4月の路線再編前か後を聞いています。

6ページでは、さんさんバス、乗継タクシーに関する満足度について聞いており、7ページ上段までの計16の質問となっています。

満足度に対する回答は、5つの項目となっており、左から満足、どちらかという満足、どちらかという不満、不満、そして判断できない、となっています。

判断できないを項目として入れている理由としては、質問の⑮などもそうですが、乗り継ぎをしていない方は、利用していないため判断できないことから、記載しています。

なお、どちらかという不満、不満と答えた方には改善アイデアを御記入いただく形としています。

質問内容としては、①で総合的な満足度、②、③で本数と経路、④、⑤で自宅からバス停、バス停から目的地までの距離、⑥で運行の時間帯、⑦で目的地までの所要時間、⑧で時刻表通りの運行、遅延関係、⑨から⑪でバス停の案内表示、待合環境、周辺施設の整備、⑫で運賃、⑬で車内の案内表示等乗車環境となっています。

7ページでは、⑭でバスマップの見やすさ、⑮で乗り継ぎ案内のわかりやすさ、最後に⑯で乗継タクシーの予約方法となっています。

次に、問17では、今あげた16の項目の中で不満、どちらかという不満を一つでも選んだ方に対し、不満が解消された場合の利用状況を聞いています。

問18では、さんさんバス、乗継タクシーのサービス向上に重要と思う項目を問1

	<p>6の総合的な満足度を除く②から⑩の中から上位三つを選んでいただく形になっています。</p> <p>問19では、今回の路線再編のポイントでもある、他の路線へ乗り継ぎが可能な乗継ポイントの利用と満足度について聞いています。</p> <p>満足度については、①で待ち時間、②で待合環境、③で案内のわかりやすさを聞く形になっています。</p> <p>最後、8ページでは、問20、問21で定期券の導入について聞いています。</p> <p>現在1,000円で11枚つづりの回数券を販売しており、1回分お得に乗りいただけますが、今後定期券の導入について検討していく上で、利用者の方のニーズを把握するための質問となっています。</p> <p>そして、問22は自由記入欄となっており、本アンケートは計22の設問で構成されています。</p> <p>再度、スケジュールを確認しますと、10月21日、23日に調査を実施し、車内で回答いただくビンゴ形式の利用実態調査はその場で回収、そして本アンケートは11月3日までに郵送回収する予定となっています。</p> <p>企画政策課の加藤と申します。</p> <p>補足説明をさせていただきますが、本日机上配布した利用実態調査のビンゴカード式のサンプルは、前回の調査時に使用したものであり、協議が整った後、今回の調査表を作成することとなりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>以上が説明になりますが、アンケート内容、期間等含め協議のほどよろしくお願ひいたします。</p>
伊豆原会長	<p>ただいま、さんさんバス路線再編後のフォローアップ調査内容について、説明をいただきました。</p> <p>何か御質問や御意見でも結構ですが、いかがでしょうか。</p>
山内委員	<p>愛知運輸支局の山内と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>利用者アンケートについて、問18でさんさんバス、乗継タクシーのサービス拡充のために、どれが重要かを上位三つ選んでもらう形ですが、さんさんバスと乗継タクシーの両方をいっぺんに聞いてしまっていますが、分けて質問することは検討していないのかお伺ひします。</p>
事務局	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>問18について、現在のところ二つ合わせて回答いただく形になっていますが、項目によって乗継タクシーのみ関係する設問などもありますので、検討させていただきます。</p>
伊豆原会長	他にいかがでしょうか。
久野文仁委員	<p>民生委員の久野と申します。</p> <p>調査日が平日、休日各1日となっていますが、例えば調査日に雨が降った場合や曜日によっても利用者数は変わってくるかと思ひます。日数的な部分で変更は可能でしょうか。</p>
事務局	<p>調査日については、申し訳ありませんが平日、休日各1日で考えています。平日の金曜日は、利用者数が最も多い曜日であるため、選定した経緯があります。天候については、予測できない部分はありますが、御理解をお願ひしたいと思ひます。</p>
伊豆原会長	他にいかがでしょうか。
松本副会長	<p>全体的にすごく良く練られた調査表だと思ひます。例えば、OD調査について前回調査と比べると支払い方法が追加されています。この支払い方法は、一人ひとりの利用を調べないと実態が分からないため、すごく意義があることだと思ひています。多くの自治体で無料あるいは福祉助成が増えてきている状況もありますので、実態を捉えるのに良いと思ひます。PayPayについても年代、目的別で実態把握でき、意義があると思ひます。</p> <p>また、アンケートについては、山内委員の御意見を反映させるのであれば、問1</p>

	<p>6についても分ける必要があるかもしれませんが、前回調査との比較や乗継タクシーに関する項目で、満足度や不満に関する改善点も把握できるため、乗継タクシーを特出しなくても問題はないかと思っています。</p> <p>問19について、事務局の説明の中でも主な改正ポイントとして乗継ポイントの設置とありましたが、イオンでの乗継状況など、この評価は非常に重要となると思います。</p> <p>設問を見ていると、二つの項目が並んでいますが、少し回答しづらいため、まず利用したことのある乗継ポイントについてお聞きし、その上で満足度をお聞きする形の方が分かりやすいかと思っています。</p> <p>また、新デザインのラッピングについても、一生懸命皆さんで考えたデザインのため、不満が多くても今から変更することはできないと思いますが、お聞きするのも良いかもしれません。</p> <p>そして、車内音声とデジタルサイネージについての満足度も重要だと思いますが、一つの項目で聞いてしまっています。前回調査との整合、ページ制限などで難しいかもしれませんが、せっかく小学生に収録いただいたので個別に評価できると良いと思いました。</p> <p>以上になります。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>問19の乗継ポイントの設問について、分かりやすい見せ方に変更したいと思います。</p> <p>また、問16の車内音声とデジタルサイネージを切り離し、項目をページ内に収まるよう調整できるかと思っていますので、検討させていただきたいと思います。</p>
伊豆原会長	<p>スペースのこともありますので、可能な範囲で対応していただけたらと思います。</p> <p>私が気になった点をお話すると、乗継タクシーについて、予約方法だけを聞いており、少ないようには感じます。アンケートだけでなく、過去に地域の方と懇談会もやっているかと思いますが、アンケート以外に評価することを考えていますか。</p>
事務局	<p>今回のアンケートでは、スペースの問題もあり、このような形をとっていますが、乗継タクシーについても利用実態、特に使われている乗降場、そうでない乗降場がありますので、今後御意見を聞くことのできる方策も検討していけたらと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
伊豆原会長	<p>先ほど、松本先生や委員の方から貴重な御意見をいただいたと思います。御意見を踏まえながら、また地域によっては懇談会や本日も委員として団体の代表者に御出席いただいていますので、御意見をいただくなど、アンケートだけに頼らず組み合わせることも考えていけるかと思っています。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
久野文仁委員	<p>アンケート内容について変更可能とのことでしたので、要望になってしまいましたが、全体を通してすごく量が多いように感じました。</p> <p>自分が回答しようとした時に、内容を理解するのに時間がかかり、難しい質問がいくつかありました。</p> <p>例えば、問11でアンケートを受け取った交通機関とありますが、今回は名鉄バスなど他路線で調査はないかと思っていますので、さんさんバスか乗継タクシーに限られると思います。また、同じ質問の中で交通機関と公共交通という言葉があり、文章が長いものもありますが、分かりにくいと思いました。</p> <p>さんさんバスの利用者は高齢者が多いと思いますので、質問数を減らすために質問を統合するなど工夫しながら、途中で回答が嫌にならないよう取捨選択できると良いと思います。</p>
事務局	<p>御指摘いただいた問11については、今回さんさんバスのみ調査となるため、表現を修正させていただきたいと思います。</p> <p>その他の設問についても、表現や文章量などで修正できる箇所は検討していきたいと思っています。</p>

伊豆原会長	<p>ありがとうございました。 他にいかがでしょうか。</p>
竹田委員	<p>アンケート量が増えてしまいますが、自動車の利用頻度、さんさんバスの利用頻度は聞いていますが、普段の行き先や外出目的なども併せて聞けると良いと思いました。</p>
事務局	<p>今回はバスの利用実態調査になるため、どこまで聞けるかという点について、ページ数も踏まえながら一度検討させていただければと思います。</p>
伊豆原会長	<p>アンケート量の話などについては、交通計画を策定する際も同様にアンケートを実施していますので、回収率等も考慮しながら簡素化できるところは対応していただきたいと思います。</p> <p>また、分かりやすい表現というのは重要なため、しっかりチェックしていきたいと思います。</p> <p>事務局も大変ですが、松本先生にも相談に乗っていただければと思います。もう少し時間はあると思いますので、修正させていただき、委員の皆さまにお送りできればと考えています。</p> <p>改めての修正は難しいかもしれませんが、その点は御承知をいただければと思います。今お伝えしたような流れで進めてよろしいでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>ありがとうございます。 それでは、そのような形で進めていきたいと思います。 その他いかがでしょうか。 内容だけでなく、もっとこうしたら良いなど提案でも結構です。 いかがでしょうか。</p> <p>【委員意見なし】</p> <p>それでは御意見がないということで、報告事項に移りたいと思います。 本日は3件ございますが、まず1件目の令和4年度さんさんバス実績報告等について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和4年度さんさんバス実績報告につきまして、資料2になりますが、事前にお送りした資料のページ順に誤りがありましたので、本日机上配布させていただいた資料で御説明させていただきたいと思います。申し訳ありません。</p> <p>まず1ページめのさんさんバス月別利用状況ですが、前回会議で御報告した4月実績に比べ利用者数は増加しており、7月は24,685人となっています。現時点での1か月平均は23,481人であり、コロナ前の平成30年度、令和元年度実績も超えてくるのではないかと見込んでいます。</p> <p>その下のグラフは、路線別の実績になりますが、全路線をとおして増加しており、路線別では、さつきライン、いいじゃんライン、くろまつラインの順で利用者数が多い形となっています。</p> <p>ページをめくっていただきますと、以降便別の実績、それから曜日別の実績などを記載していますが、時間の都合上説明を一部割愛し、御報告させていただきたいと思います。</p> <p>資料とびましてA3の資料を御確認ください。(6)乗継券利用者数になります。 こちらは、主要バス停、いわゆる乗継ポイントとなっているバス停での乗継者数を記載しています。</p> <p>4か月で計1,833人の利用があり、資料左側が路線別、右側がバス停別の実績となっています。</p> <p>フォローアップ調査においても実態を調査していきますが、左側の路線別で見ますと、くろまつラインからいいじゃんラインに乗り継ぐ利用が多く、全体の60%を超える形となっています。</p> <p>続いて右側のバス停別の実績で見ますと、イオン三好のバス停で乗り継ぐ利用</p>

	<p>が多く、全体の90%を超える形となっています。こちらはイオン三好のバス停を路線の主要な結節点としてダイヤを調整していることも理由として考えられます。</p> <p>次に、資料の最終ページを御確認ください。</p> <p>(8)乗継タクシー乗降場別の乗降者数になっています。</p> <p>令和3年度は年間の利用者数、令和4年度は4月から7月までの利用者数となっています。</p> <p>利用の多い乗降場を見ていきますと、上から三つ目の黒笹地区3について、こちらは愛知大学跡地の住宅地に設置をしていますが、人数としては49人の利用となっています。</p> <p>続けて、蕨生地区2の利用者が121人となっています。</p> <p>三好西口地区では182人の利用があり、打越地区3、打越地区4について、こちらは、令和3年度は打越地区3のみでしたが、本年度から分けているため、利用者数は分散されていますが、合算してみると200人近くの利用者数となっています。</p> <p>利用実態については、運行事業者を確認しており、利用が前年度より極端に増えているところについては、引越して来られた方が定期的に利用している場合や、通勤・通学で新たに使われるようになった方がいるというふうに聞いています。</p> <p>資料2のさんさんバスの実績報告については以上となります。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。さんさんバスの利用状況について御説明いただきました。</p> <p>どんなことでも結構ですので、御意見等ございましたらお受けします。いかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>路線再編の効果もあるかと思いますが、コロナ前の実績並みに乗っていただけているのは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>多くの自治体では、コロナ前の7割、8割という状況ですので、路線再編の効果もありますが、皆さまのおかげだと思っています。</p> <p>もしコロナ禍でなければもっと利用者が増えてすごい効果だったのではないかと考えていますので、誇らしく思っていて良いと思います。</p> <p>ある意味、市民の方が出歩きやすくなっている、それは健康にもつながっていると思いますので、本当に喜ばしいことだと思います。</p> <p>全体としては今お話したとおりですが、先ほど事務局の説明にあった乗継ポイントについて、狙いどおりイオンを利用する方が多い結果となりました。イオンさんに協力いただいた成果でもありますが、今回の利用実態調査で乗継ポイントについても捉えることができますので評価が楽しみだなと思っていますが、説明にもあったように、くろまつラインからいいじゃんラインへの乗り継ぎが一番多いという結果でした。前回会議でも聞いたかもしれませんが、行きと帰りで数が多少アンバランスですが、全体で見るとバランスが取れているのかというのが一点目の質問です。</p> <p>また、二点目の質問としては、乗継タクシーの利用で特別支援学校前の利用者数が4か月で約200人とのことでしたが、昨年度は計800人近く利用があったと思います。</p> <p>200人を3倍しても600人で200人ほど昨年度より減少してしまうことが考えられます。何か問題など発生していないか教えていただけますか。</p>
事務局	<p>一点目の御質問についてですが、比較をすると、やはりいいじゃんラインからくろまつラインに乗り継ぐ方が少ない状況にあります。運行事業者にも確認しましたが、イオンで降りて買い物をされる方、お迎えを待つ方が多く、前回会議時から状況は変わらずバランス的には相違がある形です。</p> <p>二点目については、あくまで想定にはなってしまいますが、特別支援学校に通学のため利用されていた方が一人卒業されると利用者数は大きく変わってきますので、特に問題が起きているといった報告は受けていないため、そういった状況も考えられるかと思っています。</p>

伊豆原会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>利用状況を見ていますと、比較はなかなか難しいですが、一般的にコミュニティバスの利用傾向としては、午前中の利用が多く、午後になると減っていく形になることが多いです。一方で、さんさんバスでは午後の利用が多いように感じます。この利用が今回の路線再編の効果なのかが気になっていまして、アンケートの中でも再編前後の利用状況を聞いていますので、少し比較していただけると良いかと思えます。</p> <p>次回の会議は1月頃で先になりますので、少し整理をして、単純に集計するのではなく分析いただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>次回の交通会議の際には、実績が増えていると思えますので、実績を踏まえながらアンケート調査だけでなく、再編前後の分析も交えながら御説明させていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>その他何かお気づきの点でも結構ですが、いかがでしょうか。</p>
山内委員	<p>愛知運輸支局の山内です。</p> <p>4月に路線再編を行った際に、案内人を主要なバス停に配置して、利用者の方に説明をされるなど努力があったと思えます。その中でいただいた御意見などがあれば共有していただけると良いと思えますので、よろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>分析時にも活用いただけると良いかと思えます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>区長代表の鈴木と申します。</p> <p>私どもの福谷区民会館の前にバス停があります。雨の日など天気が悪い日にそこで待っている方を見ると、上屋など設置できたらと思えますが、なかなか区では対応できない部分もあり、バス停環境の改善について制度があったり、実績があったりすれば、今後の参考にさせていただき、できることがあれば協力したいと思っています。</p> <p>そういったところも、今後検討していただけると助かりますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>バス停の待合環境整備については、上屋やベンチなど順次できるところから設置していくことを考えています。</p> <p>すべてのバス停を一度にはできませんが、道路幅等考慮しながら検討していきたいと考えています。</p>
伊豆原会長	<p>上屋など構造物の設置は大変だと思えますので、例えば椅子を置くなどちょっとしたことからでも良いと思えます。</p> <p>地元の皆さんが集まって町内会で利用促進を図る、マイバス意識もとても大切だと思えます。</p> <p>ぜひいろいろな面で一緒になって連携し考えていただけたらと思えます。</p> <p>今回利用者数がコロナ前とほぼ同じくらいということで、大変嬉しく思っています。これからも皆さんの足となっていけるように努力していけたらと思えます。</p> <p>それでは、報告事項2に移らせていただきたいと思えます。(仮)みよし市・東郷町・名鉄バス3者共同利用促進イベントの開催について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>みよし市・東郷町・名鉄バス3者共同利用促進イベントの開催について、資料3を御確認ください。</p> <p>こちらは、10月29日土曜日にイオン三好で開催予定の安全安心大作戦という、市の防災安全課が実施するイベントに合わせ、本市と名鉄バスさん、東郷町さんと連携して取り組む事業についての事前報告になります。</p> <p>今回の取組は、イオン三好にバスの乗り入れをしているさんさんバスと東郷町さんが補助している名鉄バスの東西線の利用促進を図り、広域的な公共交通のPR・利用促進を図るために実施します。</p> <p>実施内容としましては、3つありまして、①イベントのある10月の1か月間、イベントの告知も兼ねたイオン三好店内で利用可能なクーポン券をさんさんバ</p>

	<p>ス、名鉄バス車内に設置し、バス利用のきっかけに繋がりたいと考えています。</p> <p>②イベント当日にさんさんバス、名鉄バスの車両を会場に展示し、乗車体験や写真撮影を行います。なお、バス車内には市内、町内の子供たちにバスの塗り絵を描いてもらい、それを展示することで、乗ったことがない人にもバスを身近に感じてもらえるようにしたいと考えています。</p> <p>③イオン店内でバスがデザインされたオリジナル缶バッジを作成するワークショップを行い、バスへの興味をもつきっかけとなるようにしたいと考えています。</p> <p>以上の内容のほか、来場者にはクリアファイルや折り紙など啓発品の配布も行いたいと考えています。</p> <p>本イベントについては、現在打ち合わせを進めているところでして、チラシ等が完成次第、市民などに対し、SNSなども活用して情報発信をしていく予定です。以上が報告となります。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>イベントの開催について御説明いただきました。</p> <p>何か御質問等あればお受けします。いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>バス協会の小林と申します。</p> <p>実は、9月20日がバスの日となっていて、全国的に利用促進のイベントが行われており、愛知県のバス協会でも中日新聞に広告を掲載したり、当日は名古屋駅前でもチラシや啓発品を配布したり、利用促進を図っています。</p> <p>今回、資料にあるとおり、みよし市さんでイベントを行って利用促進していただけたということですが、愛知県は全国的には多い方ですが、自治体が開催するイベントは多くありません。</p> <p>例えば、豊橋市さん、岡崎市さんが毎年行っていますが、コロナでやれない時期もありまして、こういったイベントを開催できるのは素晴らしいことだと思います。</p> <p>資料に啓発品について記載がありますが、本協会の啓発品も名鉄バスさんに渡っていますので、ぜひ御活用ください。また、直接自治体さんから御依頼いただいても対応できますのでよろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>大変良いお話をありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
山内委員	<p>愛知運輸支局の山内と申します。</p> <p>今回安全安心大作戦という市のイベントにバスの啓発を含めていただきありがとうございます。</p> <p>みよし市さん、東郷町さん、名鉄バスさんの連携ということで、素晴らしいと思います。</p> <p>運輸支局としましても、車内事故防止シート、危険なバス停等も含め、安全安心に向けた取組を進めていますので、連携ができれば幸いです。よろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>運輸支局にもバックアップいただけたとのことでした。よろしくお願ひします。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
増岡委員	<p>資料に乗車体験やワークショップの記載がありますが、次の目的として、新しい路線を引くためのイベントであると理解すれば良いでしょうか。</p>
事務局	<p>今回のイベント趣旨としては、今まで利用していた方には継続して利用いただくことはもちろんのこと、今まで利用したことがない方が、そのような機会に触れることで、新たな利用者につなげることを目的としていますので、路線を新たにという考えでは行っていません。</p>
伊豆原会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>名鉄バスの加藤さんをお願いですが、CentXについて、まだ皆さんに伝わっていない部分があると思いますので、御説明いただけないですか。</p> <p>さんさんバスのダイヤも検索できると思いますので、PRしていただけますか。</p>
加藤委員	<p>CentXですと、名古屋鉄道さんの方が良いかもしれません。</p>

内藤委員	<p>名古屋鉄道の内藤と申します。 CentXという弊社のアプリがあり、今年の3月26日にサービスを開始しました。 MaaSアプリということで、全国的な地域公共交通というよりは、東海地方に特化したアプリになっています。 コミュニティバスを含め、すべての経路検索ができ、愛知、岐阜、三重で可能となっており、バスの利用とかなり親和性が高いと思っています。 現在、豊橋市でも公共交通のイベントに呼んでいただいて、経路検索も活用しながらクーポンの配信等もしていますので、今車内にクーポン券の設置というお話がありましたが、アプリでも宣伝に使っていただけたらと思います。</p>
伊豆原会長	<p>突然振ってしまいすいません。ありがとうございました。 CentXのアプリをダウンロードしている方は多くないかと思いますが、本当に細かく情報が閲覧できます。 今までのアプリと比べても、随分進歩していると思いますので、ぜひ御活用ください。 また、イベント情報なども掲載可能だと思いますので、公共交通を上手に、それから楽しく使えるように活用してもらいたいと思います。</p>
松本副会長	<p>CentXでイベント情報を載せていただくことはお願いしたいと思います。 また、愛知県の実証実験を行っていますが、my routeについても、愛知県やITS推進協議会にも依頼をし、皆さんで使いやすい仕組みを作っていくことが大切だと思います。</p>
伊豆原会長	<p>私からもお願いします。 それでは、報告事項3 三好ヶ丘ループバスの運行に係る利用実態調査結果について、運行事業者である愛知つばめ交通の山口委員から説明をお願いします。</p>
山口委員	<p>愛知つばめ交通の山口と申します。 三好ヶ丘ループバスの運行に係る利用実態調査結果について、運行事業者である私どもから御報告させていただきます。 資料4を御覧ください。 三好ヶ丘地域で地域住民の足として運行させていただいているループバスですが、前回会議において当該路線は利用者が少なく、運行の見直しを検討していきたいと御報告させていただきました。 この度、利用実態を詳細に把握するため、6月、7月にかけて利用実態調査を実施しました。資料2枚目に調査票を添付しています。 調査票表面では、性別、年齢、利用目的、電車やさんさんバスへの乗り継ぎの有無、利用頻度、利用時間帯、平日・休日利用、さんさんバスへの代替利用の可否について聞いています。 また、裏面では平日・休日ダイヤに分け、普段利用するバス停、便について聞いています。 3枚目の資料は調査結果となっていますので、御確認ください。 調査期間は、平日が6月20日から24日までと27日から30日までの計9日間、休日については、6月25日、26日、7月30日、7月31日の計4日間で、実施方法はバス車内でアンケート用紙を配布し、乗務員が回収する形となっています。 回答数は、86件の配布に対し、58件で約67.4%の回答率でした。 下の円グラフに移りますが、主なポイントとして、利用目的は通勤が46人、通学が10人となっています。 乗り継ぎについて、名鉄電車の豊田方面が11人、名古屋方面が34人となっています。 利用頻度について、ほぼ毎日が28人、週に数日が19人、月に数日が11人となっています。 利用時間帯について、朝・夜便どちらも利用が37人、朝便のみが7人、夜便のみが14人となっています。 平日・休日利用について、平日のみが45人、休日のみが0人、どちらも利用が13人となっています。 さんさんバスの代替利用について、代替可能が14人、代替が難しいが42人となっ</p>

	<p>ています。</p> <p>続いて資料右側に移りまして、バス停別及び便別の利用者内訳ですが、平日は利用の半数以上が三好ヶ丘駅での利用、次いで三好丘緑、桜5丁目バス停を利用される方が多い結果となっています。</p> <p>便別の内訳は、通勤での利用が多いことから、朝便は8時台、夜便は18時台の利用ニーズが低い傾向となっています。</p> <p>また、朝便に比べ夜便のニーズが若干高い傾向になっています。</p> <p>休日についても同様に、三好ヶ丘駅の利用が半数を占めています。</p> <p>また、便別については、全体を通してニーズは低い結果となっています。</p> <p>資料次ページに移りまして、左側上段では、利用頻度の高いバス停ごとの代替利用の有無、利用頻度を集計した結果になります。</p> <p>代替利用できると答えた人の利用頻度は、ほぼ毎日の利用、週に数日程度となっており、一方で代替が難しいと答えた人は、多少ばらつきはありますが、半数が月に数日程度、年に数日の利用者でした。</p> <p>下段では、休日利用者の利用頻度の高いバス停及び利用する便についての集計結果で、回答のあった三好ヶ丘駅、桜公園、三好丘緑、桜5丁目では、朝便の8時台、夜便の18時台はニーズが低くなっています。</p> <p>ページ右側では、利用目的別の利用頻度を平日・休日に分け集計した結果ですが、通勤・通学の利用者の約80%が平日のみの利用であり、そのうち約85%の人がほぼ毎日、週に数日程度利用いただいている形になります。</p> <p>通院や買い物、飲食などで利用する人は比較的少なく、御利用いただく場合でも月に数日程度となっています。</p> <p>また、平日・休日どちらも利用する人のうち、半数が月に数日程度、年に数日程度の利用頻度となっています。</p> <p>以上の調査結果から、利用目的は主に通勤・通学者であり、休日の利用難度は低い形となっています。</p> <p>次の資料に移りまして、こちらでは本年度の4月から8月にかけての利用者の推移を記載しています。</p> <p>月別においては、5月の利用者はゴールデンウィークの関係で少なくなっていますが、全体を通してコロナ前より減少しています。</p> <p>最初のページに戻りますが、本調査結果を踏まえ、平日についてはさんさんバスとのダイヤの重複を避けながら名鉄電車の発着時刻を考慮したダイヤに改正し、利用者の利便性向上を図りながら利用促進につなげていきたいと考えています。</p> <p>休日については、利用者数の現状を踏まえ、運行の廃止も検討したいと考えています。</p> <p>今後については、みよし市と協議をさせてもらいながら地域住民への説明等踏まえ、令和5年4月を目処に改正したいと考えています。</p> <p>以上が報告となります。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま三好ヶ丘ループバスの運行状況の調査結果について御報告いただきましたが、御質問、御意見等ありましたらお受けします。いかがでしょうか。</p>
山内委員	<p>愛知運輸支局の山内です。</p> <p>利用実態について詳細に御説明いただき、非常に分かりやすかったと思います。</p> <p>その中で、休日に利用する便に関して0人の便もありますが、朝早い便と夜遅い便で乗降があるということは、やはり休日であっても通勤で利用する人がいる可能性もあると思っています。</p> <p>平日・休日どちらも利用していた人が、仮に休日ダイヤを廃止した場合、平日についても別の手段で移動するようになることも考えられますが、そういった影響も考えた上で地域住民とお話いただき、御理解いただけると良いと思っています。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>御指摘だと思いますので、よろしくお願ひします。他にいかがでしょうか。</p>

<p>松本副会長</p>	<p>このように実態調査を行なっていただき、結果を基に方向性を決めていくことは重要だと思います。説得力もあると思います。</p> <p>難しい問題としては、どこまでを許容するかだと思います。基本的にさんさんバスは通勤時間にも走っていますが、利用者にとって朝夕の便で電車、バスにタイミング良く乗りたいが、それが無いので代替は難しいと答えていると思います。</p> <p>そのため、先ほど言われたように、通勤・通学をターゲットに電車のダイヤに合わせた運行を目指すことは決して間違った方向性ではないと思います。</p> <p>また、休日の利用状況をみると、休日はもう少し自由度が高いので廃止もやむを得ないと思っていますが、交通事業者の判断としては経営的に考えて正しいと思います。</p> <p>一方で、市としてそういう方向性で良いかは考える必要があると思います。</p> <p>公共交通をもっと全体として利用促進するのであれば、これを機会に交通事業者と連携しながら違う方向性を模索するのも手段ですし、或いは今は運行事業者だけをお願いする時代ではなく、地域の方々にも協力いただく時代のため、もっと利用してもらえるよう対策するのも一つの手段だと思います。これは大きな決断で、この会議もまさに話し合いをする場だと思いますので、方向性についても検討していけると良いと思います。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>私からも、今松本先生からお話がありましたが、代替がどこまで可能か、バス停の距離や坂道だとか、利用者の属性、年齢構成などいろんな形があると思いますので、利用者にとって休日の他のサービス提供等も検討していただくことは大切だと思います。</p> <p>状況報告をしながら、次の対策も含めて考えていけると良いと思います。</p> <p>地域住民の足として、愛知つばめ交通には運行していただいています。利用が少なくなれば事業者として、辛い選択をせざるを得ない部分もあると思いますので、そこら辺は皆さんで議論して次のステップに進むことも大切だと思います。</p> <p>また、経過報告をしていただけると良いと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>私からは以上ですが、他にいかがでしょうか。</p>
<p>山内委員</p>	<p>愛知運輸支局の山内です。</p> <p>社会情勢として、燃料高騰など急激な変化がありますので、御理解をいただくことも重要だと思いますし、実はドライバー職の労働時間の件も今後重要になってきます。</p> <p>厚生労働省を中心に労働時間について検討されており、中間取りまとめが公表され、徐々に情報が展開されると思います。労働条件が変わるのは令和6年4月ということで、約1年間の猶予があるものの、労働時間が短縮されます。そうすると、一日の拘束時間も短縮されますので、ダイヤを精査するなど、今まで以上に検討が必要になると思います。</p> <p>違反となると、運行事業者に私どもが行政処分をすることにもなりますので、そのようなことがないように、ループバスのダイヤ等についても、実際に渋滞等は考慮せず対応する形になりますので、運行事業者と協力しながら対応していただきたいと思っています。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>すごく大切な部分だと思います。労働時間など事務局でも情報を共有してもらいたいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。地元の方にもぜひ御発言いただきたいと思っています。</p>
<p>新谷委員</p>	<p>資料が戻りますが、さんさんバスのアンケートについて、すごく良くできていると思いましたが、答えるのに少し迷うなと思ったのが、問16の④で、自宅からバス停、乗降場までの距離とあって、確かにバス停までが遠いという意見も周りから聞きますが、このように聞かれた時にすごく主観的なもので、満足度については回答できますが、改善アイデアとなると回答が難しいように感じました。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>やはりアンケートだけで話を整理するのではなく、障がいをお持ちの方や、本当はバスを利用したいけど体力的に利用できない人たちをどのようにサポートす</p>

	<p>るのか、ヒアリングをするなど、気をつけて整理できると良いと思います。</p>
松本副会長	<p>アンケートについて、主観で答えるのは良いと思いますが、アンケートの答えやすさ等を考慮する上で、3ページの問2、問3については、配布者の工夫で分かるかと思います。例えば封筒にマーカーを入れ、赤色ならいいじゃんラインといったように配布時に判断できるものもあると思います。</p> <p>調査員の負担にもなりますので、どこまで可能かは分かりませんが、設問を削るという面も検討してもらえると良いと思います。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何度もすみませんが、疑問点などあれば、この場で発言いただくと大変ありがたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>【委員意見なし】</p> <p>御意見がないようですので、本日用意いただいた協議事項、報告事項は以上となりますので、事務局にお返ししたいと思います。</p>
典 礼 海堀課長	<p>長時間にわたり、貴重な御意見、本当にありがとうございました。</p> <p>アンケートの件については、本日もいただいた御意見のほか、後で気付かれた場合は、事務局は御連絡いただくとありがたいです。</p> <p>内容については、ボリューム等バランスも考えながら修正し、会長、副会長と協議した後に委員の皆さまにお送りする形にさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>また、バスのイベントについて、有益な情報をいただきましてありがとうございました。連携を密にしながら効果的なイベントにしていきたいと思いますので、御協力のほどよろしくお願いします。</p> <p>次回の会議の開催につきましては、年を越して1月24日火曜日の午後2時からを予定しています。改めて文書で案内させていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>これをもちまして、令和4年度第2回みよし市地域公共交通会議を終了いたします。</p> <p>最後に礼の交換を行いますので、恐れ入りますが御起立をお願いします。</p> <p>一同礼。</p> <p>【閉会】</p>